

ユニット名	総合環境サークルエコロジー・ネットワーク
代表者	新田大凱
所属人数	105名
達成に資するSDGs目標	4 質の高い教育をみんなに 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさを守ろう
活動概要	8月 小学生を対象とした県内企業と共催での生物観察会 8月 雲南市生物観察会の補助 10月 冒険の森てんば内ビオトープの整備ボランティア 10月 大学祭での生物展示 通年 部室での生物飼育
主な連携先 (予定を含む)	冒険の森てんば、おちらと村、株式会社さんびる
成果物の公表予定、 社会への波及効果	生物に関わる教育の場を整備・補助することで、気候変動や生物多様性に対する意識の向上を図る(4 質の高い教育をみんなに、13 気候変動に具体的な対策を、14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう)。 環境整備により、生物多様性の保全に貢献する(14 海の豊かさを守ろう、15 陸の豊かさを守ろう)。
活動報告書	8月に磯での生物採集、雲南市にある冒険の森てんば内のビオトープにて生物観察会(忠ちゃん学校2025夏(1))の補助を行った。9月に大学祭での展示で用いる生物の採集およびキャプションの作成を行った。10月に大学祭での生物展示を行った。同月、株式会社さんびると共同で生物採集イベントを開催した(2)。11月に冒険の森てんば内ビオトープの整備にボランティアとして参加した。 8月の活動では、部員同士の交流を深めながら、子どもたちの生物に関する知識の向上に努めた。この環境教育に関する取り組みは、SDGs目標4(質の高い教育をみんなに)と関係している。部員同士で共有し合った知識を、子どもたちに広めることで、主体的な学習環境をつくることができたためである。 また、生物について理解を深める活動は、SDGs目標14(海の豊かさを守ろう)や、SDGs目標15(陸の豊かさを守ろう)にもつながる。生物に関する知識を深めることで、生態系の仕組みや生物多様性の重要性を理解し、自然環境を守る意識を高めることができるためである。 9月と10月の大学祭の準備と当日での活動では、来場者に対し口頭およびキャプションで展示した生物種に関する説明を行った。体験型展示などを通し、生物に関しての知識を深められる機会を提供した。昨年度以前よりも多くの来場者に展示を観覧してもらうことができた。キャプションの作成に必要な資材に関しても無駄が生じないように努めた。この取り組みは、SDGs目標12(つくる責任 つかう責任)を意識した。資材の使用量を見直し、過剰な消費を避けることで資源の無駄を減らし、環境への負担を軽減することにつながった。 10月の株式会社さんびるとの合同イベントでは、生物の知識を深められる機会を子どもたちに提供した。この活動では私たちのサークルが主体となって、約半年前から企業と打ち合わせをし、イベントを企画した。相手方の企業も次の開催に前向きであり、来年度の開催も検討している。 11月には、希少生物の生息地となっている冒険の森てんば内のビオトープにて、継続的なボランティア活動に従事した。ビオトープ内の土砂で埋もれた水路を掘り、生物の生息環境の保全に貢献した。 (1)Community Nurse コミュニティナース. ひと・自然・文化を学ぶ3日間! 雲南「忠ちゃん学校」2025夏レポート. https://note.com/cnc_note/n/n543225b352ac, (参照日 2026-03-05). (2)株式会社さんびる. 「秋のガサガサ隊!」のご案内 - 株式会社さんびる - RECRUIT. https://sanbg-recruit.com/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B/1271/, (参照日 2026-03-05).